

文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定校について

学びの改革支援課

1 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について

(1) スーパーグローバルハイスクール、スーパープロフェッショナルハイスクールの後継事業として、文部科学省が平成31年度から実施。(指定期間は3年間。)

(2) 趣旨：「高等学校と市町村、高等教育機関、産業界等が協働してコンソーシアムを構築し、高等学校における地域課題の解決等の探究的な学びを通して、未来を切り拓くために必要な資質・能力を身に付けるとともに、地域への課題意識や貢献意識をもち、将来、地域で地域ならではの新しい価値を創造し、新たな時代を地域から分厚く支えることのできる人材（「地域人材」という。）の育成を図る。」（実施要項より）

(3) 県立高校の採択状況

①白馬高等学校：地域魅力化型指定校（全国20校）に採択

- ・研究開発構想名「世界水準の山岳リゾート HAKUBA の学びの循環サイクルの構築」
- ・白馬村・小谷村、地元観光企業、信州大学とコンソーシアムを構築し、地域をフィールドにした教科横断型の学びと PBL（課題解決型学習）を進め、生徒が地域課題に当事者意識を持って課題解決できる力を育成する。

②長野高等学校：グローバル型指定校（全国20校）に採択

- ・研究開発構想名「SDGs 未来都市を創造するグローバルファシリテーターの育成」
- ・長野県・長野市のほか、東京海上日動火災保険等の企業、県内外の大学とコンソーシアムを構築し、SDGs に係る課題研究を全生徒が進めることで、生徒の「レイヤー的思考」「ブレイクスルー発想」「国際的な対話力」を育成し、研究成果を討論する国際会議を開催する。

③飯田 OIDE 長姫高等学校：プロフェッショナル型指定校（全国11校）に採択

- ・研究開発構想名「未来価値を創る玉手箱『地域協創スペシャリスト』育成プログラム」
- ・「機械・電気・電子系学科」「建設系学科」「商業系学科」のそれぞれの産官学コンソーシアムの上部に学科間連携のコンソーシアムを二重に構築し、環境保全、ビジネス、地域資源の有効利用などの共通する学びを行い、生徒のオープン・イノベーションができる力を育成する。

2 その他の主な文部科学省研究指定校

(1) スーパーサイエンスハイスクール：指定期間5年

○飯山高等学校（平成28年度～）、屋代高等学校・附属中学校（平成28年度～）、諏訪清陵高等学校・附属中学校（平成29年度～）

(2) スーパーグローバルハイスクール：指定期間5年

○上田高等学校（平成27年度～）

(3) 教育課程研究指定事業（伝統文化教育）研究指定校：指定期間2年

○阿南高等学校（平成30年度～）

3 長野県の独自事業：県立高校「未来の学校」構築事業

○研究校：①野沢北高等学校（卓越した探究的な学びを推進する高校）、②須坂高等学校（信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校）、③飯田風越高等学校（国際バカロレアを研究する高校）、④木曽青峰高等学校（高度な産業教育を推進する高校）、⑤坂城高等学校（少人数学級を研究する高校）、⑥松本深志高等学校（その他の研究校）